

第12号

**【発行】**  
 市民運動中央地区推進協議会  
 尼崎市東難波町2丁目14-1  
 (中央北生涯学習プラザ内)  
 公益社団法人尼崎人権啓発協会  
 尼崎市東七松町1丁目23-1(市役所中館7階)  
 お問合せ 電話 06-6489-6815 FAX 06-6489-6818

中央  
**ふれあい**

互いの人権を尊重し、ともに生きるまち・あまがさきをめざして

**人権啓発街頭キャンペーン**  
**12月4日に阪神尼崎駅前 中央公園**  
**(尼崎セントラルパーク)で実施**



世界人権宣言が第3回国際連合総会で採択された12月10日の「人権デー」を最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を人権週間とし、基本的人権の尊重・擁護を広く市民に呼びかけるため、様々な啓発活動が市内各地で行われます。

中央地区における人権啓発街頭キャンペーンは、12月4日(木)午後1時20分から、尼崎市と



写真: 昨年の様子(公社)尼崎人権啓発協会 会長 谷川正秀

神戸地方法務局尼崎支局、尼崎人権擁護委員協議会で構成する尼崎人権啓発活動地域ネットワーク協議会と、公益社団法人尼崎人権啓発協会が共催し、阪神尼崎駅前 中央公園(尼崎セントラルパーク)で実施します。



写真: 昨年の様子(「第76回人権週間」一日人権擁護委員:石黒佑弥選手)

今年も「一日人権擁護委員」として阪神タイガースの選手を迎え、一緒に街頭キャンペーンを行います。

**案内**  
**中央地区まつり**  
**「もちつきふれあい広場」**

今年も、**尼崎城**で開催します!!

▼日時 12月6日(土)

午前10時〜午後1時

▼場所 尼崎城址公園(小雨決行)

主催 市民運動中央地区推進協議会  
 共催 社会福祉協議会中央支部

どなたでも参加できますので、ご家族やお友達をお誘い合わせの上、お越し下さい。



もちつき大会 令和6年度の様子  
 尼崎城址公園



**令和7年度 中央地区ふれあい講演会**  
**「阪神・淡路大震災から30年」**  
**震災と外国人 ～コミュニティの力～**

▼日時 12月11日(木) 午後2時〜3時30分

▼場所 尼崎市立中央北生涯学習プラザ 3階 小ホール  
 一般社団法人ひょうごコンテン「コミュニティ代表

Roxana Oshiro(大城ロクサナ)さん

▼申込 12月10日(水)まで

公益社団法人尼崎人権啓発協会

電話 06-6489-6815  
 FAX 06-6489-6818

▼先着 80名  
 ▼手話通訳あり

令和7年度 中央地区ふれあい講演会  
**阪神・淡路大震災から30年**  
**「震災と外国人」**  
 ～コミュニティの力～



講師紹介  
**Roxana Oshiro**(大城 ロクサナ)

日系ペルー人の大城ロクサナさんは、1999年に来日。その4年後1999年に阪神・淡路大震災に遭遇。1カ月半の避難生活を体験。震災直後の情報収集や避難生活で言葉の壁に苦しんだ外国人被災者の一人です。  
 現在、一般社団法人ひょうごコンテン「コミュニティ代表、NPO法人エフエムわいわい理事、NPO法人たかとりコミュニティセンター理事、MOCOCO(大阪市)のパーソナリティ他。



**人権に関する電話相談窓口**

▼人権についての相談はなんでも  
 0570-003-110 (みんなの人権110番)

▼学校でのいじめ・虐待など  
 子どもの人権に関する相談  
 0120-007-110 (子どもの人権110番)

▼職場でのセクハラ、家庭内暴力など  
 女性に関する相談  
 0570-003-110 (みんなの人権110番)

令和7年10月1日から「女性の人権ホットライン」は、「みんなの人権110番」に統合されました。自動音声ガイダンスに従い、1番を入力すると女性の人権問題に関する相談です。

**「虐待かも」と思ったら**  
 189(児童相談所全国共通ダイヤル)  
 24時間対応し、連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。通話料は無料です。

**尼崎市の人権相談**

▼じんけん何でも相談隊  
 06-6489-6658(尼崎市ダイバーシティ推進課)

▼人権に関する相談  
 06-6489-6815(尼崎人権啓発協会)

■人権法律に関する弁護士へのご相談  
 ■ネット上の書き込み・削除依頼のご相談

**人権法律相談**

予約・お問い合わせ  
 (公社)尼崎人権啓発協会  
 06-6489-6815  
 FAX: 06-6489-6818  
 (受付時間: 平日 午前9時〜午後5時)



# ZERO日本語学校開校のご挨拶

## 地域に顔の見える学校づくり

ZERO日本語学校 担当役員 河野 八十八

ZERO日本語学校は、文部科学省から認定され2025年4月に開校した日本語学校です。2号線沿いの三和商店街入り口の向かい側、三菱UFJ銀行の隣に校舎を構えています。



日本語学校は、外国からの留学生に日本語を教える学校です。現在はベトナムとネパールから学生44名を受け入れています。将来的にはスリランカやパキスタン、バングラディシュ、インドネシア、フィリピン、中国や台湾などからも学生を受け入れる多国籍多文化型の日本語学校を目指しています。

日本語学校への留学は、日本が経済立国であること、充実した教育環境や安全な生活環境が整い、歴史と

四季折々の文化を併せ持ち、漫画やアニメなどサブカルチャーへの関心事も併せ、外国の学生たちにとって魅力的な夢抱く進路選択であると同時に、初めての海外に挑戦する機会です。

私たちは、日本語教育だけが日本語学校の役割ではないと考えました。学生たちにとって日本語学校が、日本や日本人、尼崎での生活、それらとの初めての出会いになるならば、学生たち一人ひとりに生活者として自覚を育くむ学びを導く役割があると考えました。

そのため私たちは、地域に開かれた学校づくりが必要だと考えま



す。地域の皆様に「あの子たちはZERO日本語学校の学生さん」と見知っていたり、そこから始まり、学生一人ひとりが地域の中で良き隣人、おとなりさんとなり、その積み重ねを先輩から後輩へと継いでいく、そんな学校づくりを目指しています。

ZERO日本語学校は「共生社会」を校是(こうぜい)としています。コミュニケーション能力としての日本語を実践的教育で育み、自己実現力と相互理解力を発揮できる人材育成



地域に顔の見える学校づくりへご期待いただけるよう努力いたします。

を目的としています。地域の皆様との出会いを包摂的な日本語学習環境と捉えた教育活動が、地域の皆様にとって多文化共生の共助となるよう、

## 安心・安全な社会の実現を目指して

尼崎中央防犯協会 会長 加島 裕三

### 「尼崎中央防犯協会について」

防犯協会ってどのような団体だろうと思われている方も多いと思いますが、私たち尼崎中央防犯協会は、地域の安全・安心を守るため警察・行政と連携し、地域住民や商店街・各種企業と協力し、様々な防犯活動を行っています。主な活動といたしましては、防犯キャンペーンの実施、防犯パトロールの推進、防犯教室や講習会、子供や高齢者の見守り活動等を実施しています。



尼崎中央防犯協会活動

### 「地域住民・行政との連携による啓発活動の重要性」

昨今、犯罪は多様化・複雑化しており、特に特殊詐欺については、SNSの普及により老若男女問わず被害が拡大しています。犯人の手法や対策を知ってもらうため、防犯協会としてはキャンペーン等で地域の皆様と一緒に街頭でチラシ等を配布し啓発活動をおこなっています。



おりますが、なかなか被害が減らないのが現状です。しかしながら、粘り強い啓発活動で被害が減少した例もございます。以前は、尼崎市内でひったくり被害が多発してありました。そこで、防犯協会・地域住民・行政と一体となり、ひったくり防止の自転車のかごカバーや自転車盗難の



一緒に「安心・安全な社会」を実現するために、粘り強く活動を続けてまいりますので、今後とも皆様のご協力とご支援賜りますようお願いいたします。

### 「地域の皆様と安全・安心なまちを目指して」

被害に遭わないためのキーチェーンの配布、警察による犯人検挙等の様々な対策が功を奏し、ひったくり被害が減少しました。このように、啓発活動はすぐに効果が出ないかもしれませんが、粘り強く続けていくことで必ず効果が出ると思っています。



このような紙面機会をいただけたこと、教職員、学生一同に成り代わり感謝を申し上げます。開校のご挨拶に代えさせていただきます。